

## 平成 18 年度 年度計画（概要）

公立大学法人名古屋市立大学

### 教 育

～地域社会及び国際社会に貢献することができる人材を育成します～

- (1) アドミッションポリシー（入学者受入方針）を策定・公表
- (2) 教養教育推進本部を設置し全学的な教養教育を推進
- (3) 教育に関する自己点検・評価、外部評価の結果公表制度及び教育内容の改善に活用する仕組みを構築
- (4) 教養教育科目として「環境問題への多元的アプローチ」を開設
- (5) 19年度実施に向け経済学部学科の再編を準備
- (6) 医学研究科において連携大学院を実施
- (7) 19年度開設に向け専門看護師教育課程の設置を準備
- (8) 大学間交流協定大学を増やし、学生交流、国際的共同研究等を推進

### 学生支援

～学生・大学院生が学びやすい環境の醸成に努めます～

- (1) 19年度の導入に向け、優秀な学生・院生に対する表彰及び奨学金制度のあり方について検討
- (2) キャリア支援センターを開設し学生の就職・キャリア教育を支援
- (3) 社会人の就学機会を拡大するため、長期履修制度の導入を検討し準備するとともに昼夜開講制を改善

### 研 究

～時代や社会の要請に対応した研究活動を着実に推進します～

- (1) 各研究科・学部における研究に対する目標の設定による着実な研究の推進
- (2) 本学研究の特色化に向け、国際共同研究プロジェクトなどに対して特別研究奨励費を重点配分
- (3) 各種指針、ガイドライン等に基づき研究倫理規程を整備するとともに、知的財産統括アドバイザー制度を活用して産学官・地域連携推進センターの体制を整備し、知的財産を創出・管理・活用

### 社会貢献

～市民・地域社会・企業との協働により社会が抱える課題の解決に取り組みます～

- (1) 「健康と福祉」を統一テーマとした短期講座、最新の研究情報等を市民にわかりやすく紹介する連続講座等の市民公開講座を積極的に開催
- (2) 「サイエンスカフェ」を定期的に開催
- (3) 第10回生物多様性条約国会議の開催に向け積極的に協力
- (4) スーパーサイエンスハイスクールである名古屋市立向陽高校との連携事業を推進
- (5) 日本政策投資銀行と連携して共同調査事業、シンポジウム等を開催
- (6) 地域における国際交流活動等を支援するため小学校への留学生派遣を実施

## 附属病院

～市民の皆様が安心して受けることができる医療を提供します～

- (1) 電子カルテシステムを利用して各種安全管理マニュアルを電子化
- (2) 医師教育に関して、学生教育、前期研修及び後期研修を通じた体系的プログラムを構築
- (3) 「禁煙外来」(専門外来)を新設
- (4) クレジットカードによる治療費支払システムを導入
- (5) 外来化学療法室の19年度開設を準備
- (6) 病院長の実質専任化及び候補者の公選について検討
- (7) 平均在院日数を20日に短縮

## 業務運営等

～教職員の意識改革とともに運営体制の着実な改革を推進します～

- (1) 理事長直轄の内部監査担当組織の設置に向け組織体制を検討
- (2) 教員の定員管理システム及び給与制度を見直し
- (3) 教員の任期制を導入する職種及び研究科を拡大
- (4) 派遣職員50名を固有職員に切り替え
- (5) 病院収入等の自主財源増加策を順次実施するとともに、外部資金獲得額を年間7億円へ
- (6) 教育・研究等の振興を目的とする基金を設置し募集を開始
- (7) 省エネルギー対策を順次実施し光熱水費を対前年比で5%節減
- (8) 薬学部校舎等の改築実施設計をスケジュールどおり進行
- (9) キャンパス内全面禁煙を実施
- (10) ハラスメント防止対策ガイドラインを策定
- (11) 男女共同参画行動指針及び次世代育成に関する行動計画を策定

## 平成18年度予算

(単位:百万円)

区 分	金 額
収入	
運営費交付金	9,358
自己収入	17,461
授業料及び入学金検定料収入	2,242
附属病院収入	14,885
雑収入	334
受託研究収入等	790
施設整備費補助金	4,719
計	32,328
支出	
業務費	25,839
教育研究経費	1,458
診療経費	9,307
人件費	15,074
一般管理費	980
受託研究費等	790
施設整備費	4,719
計	32,328